

第126号
ボランティア情報 ふじいでら

プラム

社会福祉法人 藤井寺市社会福祉協議会
藤井寺市ボランティアセンター
藤井寺市ボランティア連絡会
〒583-0035 藤井寺市北岡 1-2-8
TEL 072-938-8220
FAX 072-938-8221
E-mail fureai@silver.ocn.ne.jp
URL <http://www.fujiidera-shakyo.net>

アウェアネス・リボンについてご存知ですか？

プラムでも過去に取り上げさせていただいた、オレンジリボンなどがアウェアネス・リボンの一つになります。

輪状に折った短い一片のリボン、もしくはそれを描いた絵などの事を言います。世界各地で着用者（使用者）が社会運動、もしくは社会問題に対してさりげない支援や賛同の声明を出す方法として使用されています。



オレンジリボン

アウェアネス・リボンの背景にある意味は、その色によって決まってきます。非常に多くの組織が支援や配慮のシンボルとしてのリボンを採用しているため、結果として様々な運動が同じ色のリボンを共有することもあります。

さて、皆さんは様々なリボンの意味を知っていますか？いくつか例を挙げてみたいと思います。

リボンの色	リボンの持つ意味（シンボル）
レッドリボン	<ul style="list-style-type: none"> ・HIV/AIDS と共に生きる人々に偏見を持たず、差別せず、支援していく運動 ・薬物、アルコール乱用の防止
ホワイトリボン	<ul style="list-style-type: none"> ・開発途上国における妊産婦の命と健康を守る運動 ・男性の暴力を止めようと呼びかける運動 <p style="text-align: right;">など</p>
ブルーリボン	<ul style="list-style-type: none"> ・言論の自由を守るための運動 ・北朝鮮による日本人拉致被害者問題の被害者を救出するための運動 ・受動喫煙防止運動 <p style="text-align: right;">など</p>
グリーンリボン	<ul style="list-style-type: none"> ・環境保護活動 ・臓器移植の普及
ピンクリボン	<ul style="list-style-type: none"> ・乳がんの予防、啓発
パープルリボン	<ul style="list-style-type: none"> ・女性への暴力根絶 ・すい臓がんの啓発、撲滅 <p style="text-align: right;">など主に社会、医療の分野で用いられる</p>
オレンジリボン	<ul style="list-style-type: none"> ・児童虐待防止 ・反人種差別 <p style="text-align: right;">など</p>

世界ではこの他にも様々な色、意味のリボンが用いられています。

どのようなリボンが他にあるのか、と調べるだけでも十分にそのリボンのシンボルとしての意味を果たしていると言えるでしょう。自分の関心ある行動、活動はどのようなシンボルがあるのか、調べてみることも良いのかもしれないね。

プラム

平成26年8月3日発行

夏のボランティア体験プログラム ～藤井寺市内11カ所～
 ☆毎年、7月～9月にかけて実施しているボランティア体験プログラム。ボランティアの受け入れに協力いただいている施設のご紹介をします。

施設名	活動場所	活動期間	募集対象	活動内容
①（高齢者分野） ケアホーム 春日丘	春日丘 2-18-20	8月1日～ 8月31日	高校生以上	配膳の手伝い等
②（高齢者分野） 藤井寺特別 養護老人ホーム	藤井寺 4-11-7	7月1日～ 9月30日	専門学生 以上	レクリエーション手伝い等
③（高齢者分野） デイルーム 藤井寺	岡 1-2-19	7月1日～ 9月30日	不問	レクリエーション手伝い等
④（高齢者分野） ひかり・ 第2ひかり	惣社 2-5-15	7月1日～ 9月30日	高校生以上	利用者との話し相手等
⑤（高齢者分野） どうみょうじ 高殿苑	道明寺 3-2-2	7月1日～ 8月31日	不問	利用者との話し相手等
⑥（障害者分野） 賀光寮	藤井寺 4-11-8	7月1日～ 9月30日 盆休みは除く	高校生以上	作業を利用者と取り組む等
⑦（高齢者分野） つどうホール	小山 3-151-1	8月15日～ 8月17日	専門学生 以上	納涼祭の手伝い
⑧（障害者分野） 障害者地域生活支援センターわっと	岡 2-12-6	7月1日～ 9月30日 盆休みは除く	不問	利用者との話し相手等
⑨（障害者分野） あゆみ	津堂 3-286-5	7月1日～ 9月30日	専門学生以上	作業を利用者と取り組む等
⑩（障害者分野） 障害児・障害者ふれあい支援センター	北岡 1-2-8 市民総合会館別館3階	7月25日～ 8月27日 (木)は除く	専門学生以上	障がい児・者への余暇支援等
⑪（児童分野） つどいの広場 ふじいでら	小山 9-1-16	7月1日～ 8月29日 盆休みは除く	中学生以上	水遊びの見守り等

☆ご興味のある方、プログラムに参加してみたい方は、藤井寺市ボランティアセンターまで、お問い合わせいただきますようよろしくお願いいたします。

夏のボランティア体験プログラム“おつかれサロン”

7月から9月の間、「夏のボランティア体験プログラム」に参加いただいたボランティアさん同士が活動をふりかえったり、交流を深めたりする“おつかれサロン”を実施したいと思います。実施内容は、以下のとおりです。

日時:平成26年9月3日(水)14:00~15:00

場所:ふれあいセンター(藤井寺市立福祉会館)2階

内容:活動のふりかえり、情報交換等

ふるってご参加いただきますようよろしくお願いいたします。

日頃からの備えを~防災グッズの特集~

○社会福祉協議会は、災害時に災害ボランティアセンターとなります。防災の啓発の一環として、地震や大雪などの災害から身を守る防災グッズを紹介します。

【防災グッズ一覧】



総務省消防庁 HP より (<http://www.fdma.go.jp/html/life/sack.html>)

〈食糧・水〉

- ・物資が届くまで3日掛かると言われています。長期保存可能な食べ物や水は必須。

〈衣類〉

- ・体温調節や怪我防止のために長袖の服や防災ずきん・手ぶくろ。

〈ラジオ〉

- ・災害時における避難場所の情報収集に必須。電池も忘れずに。

〈懐中電灯〉

- ・災害時、建物の中は真っ暗になります。停電に備えて必ず準備を。

〈救急箱〉

- ・常備薬を服用している方は必ず準備しておきましょう。

求む！ボランティア

(連絡先)

TEL：072-938-8220

MAIL：fureai@silver.ocn.ne.jp

募集NO.32

一般、中高生や大学生のボランティア募集です。

活動内容：子どもの見守りお手伝い(0歳～就園前)

【水遊び】の間 子どもの見守りをお手伝い願います。

日 時：8月の火、金曜日 午前の部 10：30～11：30

午後の部 13：30～14：30

実施場所：つどいの広場 ふじいでら（住所：藤井寺市小山9-1-16）

問・申込みは直接発信者へ：TEL 072（936）0011 【スタッフ】



第26回社会福祉士国家試験にチャレンジ

その1

問題 事例を読んで、E相談支援専門員（社会福祉士）によるFさんの支援に関する次の記述のうち、課題中心アプローチに基づく支援として、適切なものを2つ 選びなさい。

〔事例〕

U市基幹相談支援センターのE相談支援専門員は、U市地域福祉課担当者からの連絡で、Fさん（30歳、男性）に対する相談支援の依頼を受けた。自宅を訪問してFさんが父親との関係に困って地域福祉課に連絡したこと、10年前の交通事故によって、身体障害があり、電動車いすで近所には行けること、父親と二人暮らしで食事や掃除は近所の親戚に手伝ってもらっていること、毎日パチンコ店に行つて父親と口論になることなどを聴いた。

1. 父親とどんなときに口論になるかについて具体的に尋ねる。
2. 昼間の居場所として作業所に通うことを勧める。
3. 困っている問題の優先順位について尋ねる
4. ヘルパー利用を促すために居宅介護事業所を紹介する。
5. 奇跡が起こったらどのような人生を送りたいかと解決像を訪ねる。

【正答】 1・3

【熱中症について】

熱中症には誰もが注意する必要がありますが、その中でも特に熱中症を起こしやすい年代があります。男性では0～4歳、15～19歳、55～59歳、80歳前後に、女性では0～4歳、80～84歳に熱中症発症のピークがあります。一般的に、人は1日約2.5Lを体内から失います（尿：約1,500ml、不感蒸泄*：約900ml、便：約100ml）。夏場は汗をかく分、意識して水分の摂取を心がける必要があります。（※ 呼気や皮膚から失われる水分）

水分補給として一度に大量の水を摂取すると、かえって体内の電解質バランスを崩して体調不良を引き起こしてしまいます。飲む量は、かいた汗の量を目安にし、汗で失われる塩分（ナトリウム）もきちんと補給しましょう。

大塚製薬HPより【<http://www.otsuka.co.jp/>】

【開所時間】 月～金曜日（土・日・祝除く） 午前9時～午後5時30分